

心が一つになった 1学年 宿泊オリエンテーション

高め合う学年集団へ!!

5月8日(火)～9日(水)の2日間、国立赤城青少年交流の家において1学年の宿泊オリエンテーションが行われました。1年生にとって入学して初めての大きな行事である宿泊オリエンテーションは、

「将来の夢や目標を定め日々の生活の充実を図ることや、学級や学年の集団生活の向上を図ること」

を目的としています。当日は、2日間ともに雨で天候には恵まれませんでしたが、129名全員が元気にすべてのプログラムをやりきることができました。2日間の活動を通して、話を聞く姿勢、集中力、自分で考えて行動する力、仲間と協力して団結する力等、大きな成長を見せてくれました。

1日目の最初のプログラムは、濃霧のため鍋割山登山を中止し、体育館で登山班対抗の室内レクと、クラス対抗の長縄選手権を行いました。室内レクでは、新聞紙を使ったタワーゲームや漢字探しなど、班で協力して取り組む姿が見られました。また、クラス対抗の長縄では、最初は全く跳べませんでしたが、各クラス工夫を重ね、気持ちを一つにしだんだんとうまくなっていきました。そして、本番の5分間で、全てのクラスが20回以上跳び、50回を超えたクラスもありました。仲間と協力し、クラスの団結力がより一層強くなった瞬間でした。

入所式のあとは、宮沢賢治の「雨ニモマケズ」の群読と合唱練習でした。「雨ニモマケズ」の群読では、全員がしっかり暗唱でき、自分の分担を精一杯暗唱し、素晴らしい群読を披露してくれました。合唱練習では、伴奏や各パートのリーダーに積極的に挑戦し、「校歌」と「この地球のどこかで」の練習に取り組みました。最後は、講堂いっぱいに歌声が響きわたり、伸びゆく生徒たちの可能性を強く感じ取ることができました。

進路学習では、サポートリーダーとして参加してくれた2年生8名の先輩方の堂々としたリードのもと、学校生活の不安や悩みへのアドバイス、そして、将来の夢やその実現に向けて今取り組むべきことなど、積極的に意見を発表し合い、自分の将来の夢や希望を元気よく楽しそうに語る1年生の姿が随所に見られました。今後の四ツ葉学園の生活をする上で、大変意義のある活動となりました。2年生のサポートリーダーの皆さん本当にありがとうございました。

2日目は、進路学習のまとめと委員会ごとに協力して活動したカレー作りでした。各自が自分の役割をてきぱきとこなし、どの委員会もおいしいカレーを頬ばる微笑ましい姿を見せてくれました。最後の後片付けも協力して行うことができました。

退所式では、交流の家の方から「規範意識が高く模範となる団体」に与えられる賞状をいただくなど、四ツ葉学園のスタートに当たり、大成功の行事となりました。

